

休山新道の開通で都市がより一体化

平成14年3月21日、休山新道が全線開通

- ・呉市の中央地区と阿賀・広地区間の往来が容易になり交流が活発に。
- ・休山新道経由のバス路線が新設され、呉市本通り5丁目～呉市阿賀中央6丁目までの区間で所要時間が大幅短縮。

地域間交流の効果

- ・歩行者数 開通前に比べ 約70%増加
- ・自転車数 約160%増加
- ・自動車交通量 約10%増加

時間短縮の効果

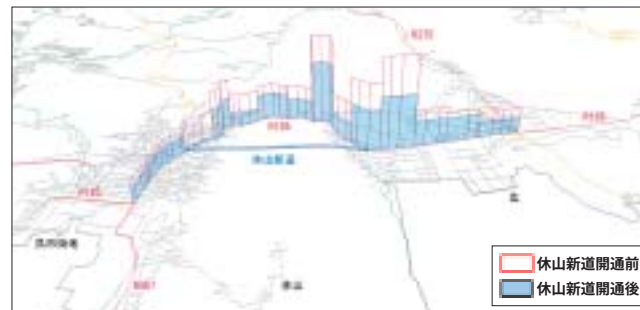
- ・上り 21分 → 6分 約4分の1 (15分短縮)
- ・下り 16分 → 6分 約3分の1 (10分短縮)

資料／バスプローブデータ 開通前 (H13.10/1～H14.1/31の7時～8時)
開通後 (H14.3/25～H14.4/14の7時～8時)

経済損失削減の効果

- ・約95億円 → 約59億円 約36億円の減少
(休山新道の事業費約300億円は9年で還元)

●国道185号休山新道の開通による損失額減少効果 (上り方向)



注／バスプローブデータ (GPS利用の位置情報装置を搭載したバスから得られたデータ) を基に中国地方整備局が算出

●国道185号休山新道の開通による損失額減少効果 (下り方向)

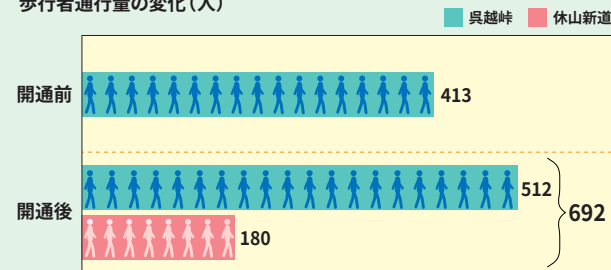


注／バスプローブデータ (GPS利用の位置情報装置を搭載したバスから得られたデータ) を基に中国地方整備局が算出



●歩行者は約70%増加

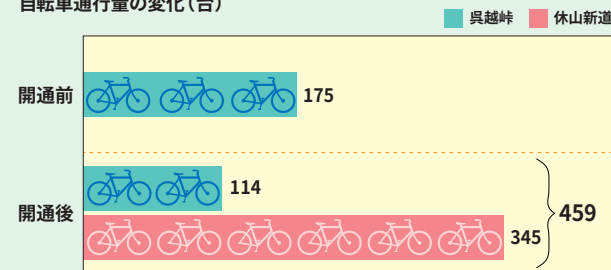
歩行者通行量の変化 (人)



注 開通前 (平成14年2月14日 (木) 7時～翌7時)
開通後 (平成14年4月17日 (水) 7時～翌7時)
資料／広島国道工事事務所

●自転車は約160%増加

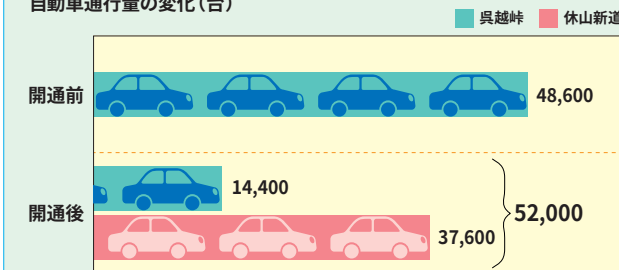
自転車通行量の変化 (台)



注 開通前 (平成14年2月14日 (木) 7時～翌7時)
開通後 (平成14年4月17日 (水) 7時～翌7時)
資料／広島国道工事事務所

●自動車は約10%増加

自動車通行量の変化 (台)



注 開通前 (平成14年2月14日 (木) 7時～翌7時)
開通後 (平成14年4月17日 (水) 7時～翌7時)
資料／広島国道工事事務所